

府中市職員逮捕を受けた市長会見要旨

日時：令和2年6月2日（火）午後4時30分～5時15分

会場：府中市役所北庁舎3階第5・6会議室

参加メディア：読売新聞（3名）、朝日新聞（2名）、毎日新聞（3名）、東京新聞（1名）、日本経済新聞（1名）、産経新聞（1名）、時事通信（1名）、共同通信（1名）、日本放送協会（2名）、日本テレビ（1名）、テレビ朝日（2名）、TBSテレビ（1名）、フジテレビ（1名）、東京MXテレビ（1名）

市長からのお詫び

本日（6月2日）、本市の都市整備部参事である職員が、官製談合防止法違反容疑で逮捕されたことが判明いたしました。

当該職員が、全体の奉仕者として法令等を遵守し、市民の模範となるべき立場にあり、また、本市の部長職として、その占める職制の責任の度合いが特に高い立場でありながら、市民の皆様の信頼を損ねる不祥事を起こしたことは、誠に遺憾であります。

今後につきましては、事実関係を把握の上、厳正に対処してまいります。

市民並びに関係者の皆様に、ご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

事件概要等の説明

現時点で把握している事件の概要等についてご説明いたします。

はじめに、当事者でございますが、

所属名 都市整備部

職名 参事（部長職）

氏名 塚田 雅 司（つかだ まさし）

年齢 56歳

でございます。

次に、事件の概要についてでございますが、事件当時、都市整備部長であった塚田参事は、令和元年8月28日及び同年9月11日に公募型指名競争入札で執行した工事2件の契約の締結に関して、適正に入札に関する職務を行うべき義務に反し、秘密事項である工事の最低制限価格を教示し、入札の公正を害すべき行為を行った容疑で逮捕されたものです。

そして、これまでの経緯でございますが、当該職員は令和元年9月20日に、自身による秘密漏えいを副市長に報告、謝罪をした上で、令和2年3月末日での退職願を提出し、また、本件の顛末書を令和元年9月30日に提出しております。

このことを受けた本市の対応といたしましては、警視庁に捜査を依頼し、これまでの間、資料提供、関係職員の聴取等、捜査機関への協力を行ってまいりました。

た。

今後につきましても、引き続き捜査への協力を行ってまいります。

最後に、今後の対応につきましては、幹部職員の不正への対策を含めたコンプライアンスの推進に係る取組を検討し、再発防止に努めるほか、入札の方法等の適正化に関する検討を実施してまいります。

また、部長職である職員の非違行為の責任をとるため、市長及び副市長の給料の減額を考えております。

質疑応答

記者…市長として最初に聞いた時の受け止めに伺いたい。

市長…非常に残念なことだと思った。これを機会に市政を立て直さないといけない。非常に遺憾に思う。

記者…塚田氏、村木議員、臼井議員はどのような人か。

市長…塚田の人柄は、性格は大人しい。部下からの信頼も受けている。村木・臼井両議員については、議員活動の中で、行政を歪めるような活動があったということは極めて残念である。

記者…2件の工事の位置づけを伺いたい。

市長…四谷さくら公園は、長年の市民皆さんの声を生かして整備したもの。浅間町の拡幅も歩道の拡幅を望む声が強く、オリンピックロードレースコースでもあった。市政における重要な工事であった。

記者…最初に市長はどのように事件を聞いたのか。

市長…この2件は、関係課が入札結果に疑念を持ち、内部調査をしようとしたところ、本人が自分の行為だったことを副市長に報告した。本人は、昨今、オリンピックに向けて工事価格が高騰していて入札が不調に終わることが多く、それを危惧したと説明している。

記者…入札では、最低制限価格は公表しないのか。

市長…本市は公表していない。

記者…この2件の最低制限価格は。

市職員…四谷さくら公園2期拡張整備工事の最低制限価格は、税抜で1億1220万4071円。入札金額が1億1220万4080円で、最低制限価格との差は9円差での落札。浅間町1丁目地内道路新設工事は、最低制限価格が税抜で5454万8952円、入札金額は税抜で5454万8952円で同額である。

記者…官製談合防止法違反だが、本人は何も受け取っていないか。

市長…本人は、何も受け取っていないと聞いている。

記者…このような報告を受けたが、工事を進めた理由は。

市長…契約は、入札結果後、速やかに事務手続きを進める。明らかに不正であることが、入札結果の時点では分からなかったため、工事契約し進めた。

記者…塚田氏は、市議や業者から情報を求められたとは言っていないのか。

市長…聞かれたので答えたと言っている。聞かれた相手については捜査に影響があるので、差し控えさせていただきたい。

記者…同じタイミングで、それぞれの議員が同じようなことをしたというのは、恒常的にそういうことがあった可能性もあると思うが。

市長…それはないと思う。今回は特異な例だと思っている。

記者…価格は業者に直接言っているのか、議員を通して言っているのか。

市長…議員を通じて伝わったと聞いている。

記者…4月から塚田氏が異動した経緯は。

市長…今後の処分なども踏まえ都市整備部参事とした。

記者…過去に議員から漏洩を唆されたということは職員、市長含めてあったか。

市長…退職した部長職経験職員にも確認した。答えたことはないと言っていた。

私自身は聞かれたことはない。過去に議員の経験があるが、聞いたこともない。

※本質問の回答について、「退職した前部長職1名に対し、確認を行った。前部長からは、『市が公開している工事内容や予算額に関する問い合わせを受けたことはあるが、入札金額に関する問い合わせを受けたことはなかった。また、そのような質問に答えることはない』との回答であった。なお、職員の聞き取りは、塚田1名のみである」とする補足を加えます。前部長の回答内容の概要のみを市長に伝えていたため、記者の質問に対し、市長が上記の回答を行ったものです。

※市では、本件について警察に報告し、警察からは、捜査に影響があるため、報告以降、他の職員への聞き取り調査などは行わないよう指示を受けたため、本件について市の調査は行っておりません。

記者…今年の市長選では、村木議員は、市長の選対本部長をしていた。不正な手続きに関わった疑いがあることを知ったうえでお願いしたのか。

市長…捜査中で明確になっていない状況であった。村木議員の判断で受けた。

記者…塚田氏から辞表が出ているが、処分を行う予定はあるか。

市長…捜査・起訴・判決などを踏まえて処分したいと考えている。

記者…任命責任についてどう考えているか。

市長…部長に任命して半年経たないうちに起こった事件である。私にも責任があると思っている。

記者…工事契約を見直さずそのまま行った理由は。

市長…他の入札でも同じように最低制限価格に近い額で落札され、契約に至る案件もある。

記者…この2件の工事について、どのくらいの価格で入札していたのか。

市職員…四谷さくら公園の税抜きの落札金額は1億1220万4080円。最も高い金額の入札金額は1億3500万円なので、差が2200万円ほど。浅間町一丁目地内道路新設工事は、落札金額が5454万8952円で、最も高い入札金額は5881万7千円なので、400万円ほどの差である。また、浅間町一丁目では、最低制限価格未満の5210万円を入札し、失格した業者もある。その入札額との差は、およそ600万円である。

記者…入札した業者の数は。

市職員…いずれの工事の入札も5社が金額を入れている。

記者…現時点で再発防止として、市としてとれる策はないのか。

市長…入札のあり方について、このようなことが二度と起きないようにやっていくため、既に協議を行っている。

記者…警視庁の家宅搜索の対象となった部署は。

市長…職員課、都市整備部、契約課、議会事務局などで行うと報告を受けている。
※家宅搜索は、職員課、法制文書課、契約課、議会事務局、出納課、道路課、公園緑地課で行われました。

以上